

大阪体育学会第52回大会 シンポジウム

スポーツとエイジングの良好な関係を考える

Consideration of socialization and continuing to sport in aging society

司会 永松 昌樹*

Masaki Nagamatsu

趣旨説明

永松 今日3名のシンポジストの方と指定討論者の方、このような形で進めたいと思っております。趣旨等につきましては、大会号のほうで、大体知らせてございます。先ほど谷本先生からも再三、「生涯スポーツ」ということと「マスターズ」というお話がたくさん出てまいりましたので、おおよそこの語がどういうことを指しているのかお分かりかと思っております。それから近畿大学自体が、「生涯スポーツ」という名で学生に授業をしております。平均寿命では世界一といわれている国、その中でスポーツ環境をどう整えていくのかというようなことを趣旨として進めていきたいと思っておりますので、しばらくの間お付き合い願います。よろしくお願い致します。では早速ですけども、まず最初にシンポジストの方々をご紹介させていただきたいと思っております。高橋伍郎先生です。拍手をお願い致します。

高橋先生は「マスターズスイミングの実践と有効性について」ということで、ご自身もマスターズのスイマーとして、ご活躍されています。ここには水泳の教え子の方もたくさん来られるようなんですけども、筑波大学で長く教鞭を執られておりました。先生、よろしくお願い致

します。それから奈良県なぎなた連盟の福田啓子先生です。「日本女性に見る武道文化の伝承と生涯学習について」、体育史の観点から武道、それから特になぎなたをされているということで現代の女性がスポーツを続けていくためには何が必要なのか、歴史的なことも含め、過去にどんな方が居られたとかというようなことでお話を進めていただきたいというふうに思っております。次に谷めぐみ先生です。マスターズスポーツ振興支援室とありますが、神戸大学の中にご覧いただけます。「マスターズ甲子園の開催から見るスポーツプロモーションの可能性」ということで、このイベントの可能性について、お話をお教えいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。先生方、よろしく願います。

最後に指定討論者の彦次佳先生です。

彦次 よろしく願います。

永松 彦次先生は、和歌山大学教育学部の先生であります。博士論文が、マスターズ、高齢者とスポーツということのテーマでお書きになっております。2021年にも大きなスポーツのイベント（関西ワールドマスターズゲームズ）がきますけども、今は関西でいろいろスポーツに

* 近畿大学

焦点を当て、マスターズのスポーツについての研究をされております。今日は3人のお話を聞いてその後、先生のほうから指定討論者として質問をしていただきたいというふうに思っています。どうぞよろしくお願い致します。申し遅れましたが私、近畿大学の永松と申します。

15年間は大阪教育大学で大変お世話になりました。近畿大学には2010年からお世話になって

おります。私はスポーツの指導者を養成するためにできた鹿屋体育大学の1期生でございます。生涯スポーツの研究をテーマに近大でやらせていただけるということは非常に幸せに思っております。どうぞ皆さん、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。では高橋先生、どうぞよろしくお願い致します。